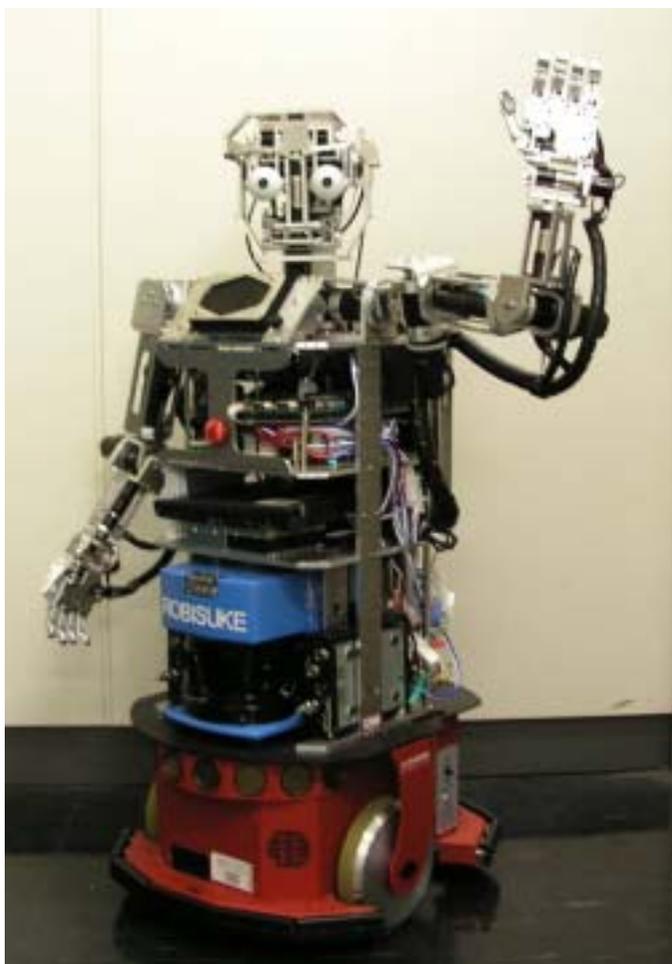


ROBISUKE (ロビスケ)

早稲田大学
WABOT-HOUSE
研究所



連携企業: (有)モールドプランニング ハナダ (各務原市、金型)
手指部設計修正、組立

マルチモーダル対話ロボット

マルチモーダル対話ロボットROBISUKEは、人と自然な対話をするために開発が進められています。

自然な対話を実現するためには、数多くの技術を統合しなければなりません。人の話を理解するために耳で聞いた声を音声認識したり、人の顔を見るために画像認識をしたりすることに加え、人の頭の動きや表情からその人が何を言いたいかを理解したり、ロボット自身も視線や表情を変化させたりすることも重要です。

これらを一つのロボット上で動作させることで対話にリズムが生まれるのです。ROBISUKEは、このようなさまざまな技術を開発するプラットフォームとしても用いられています。

担当: コンピュータ・ネットワーク工学科
小林研究室

